

【資料】

酪農学園大学事務棟内で捕獲されたアカネズミ *Apodemus speciosus* について

浅川 満彦

酪農学園大学獣医学類 感染・病理学分野 医動物学ユニット

令和5年10月20日以降、江別市にある酪農学園大学学生サービスセンター棟（SC棟；図1）2階の電算・作業室では、その1週間前から見慣れない体色を呈した小動物が目撃されるようになったことから、その床面上に市販の住家性ネズミ類対象の粘着式罠（TAKAGI粘着ねずみとりシート防水ブック型：高儀、新潟）4つを仕掛けていた。そして、10月29日午前、罠の1つに小哺乳類1個体（死体）が付着していたので（図2）、当該の部屋で業務をする同大職員・山崎耕太氏から著者に、その種同定と生態、公衆衛生的に危惧される場合、問題点はどのようなことで、対策は何かなどの問い合わせがあった。

まず、著者は当該試料を観察し、毛色、外観および後足長（約26 mm）などの特徴からアカネズミ *Apodemus speciosus* 成獣雌と回答した（図3）。また、アカネズミは人が恒常的に活動している建物内を住处としない種であり、このような形で捕獲されること自体、極めて珍しく、たとえば、港湾・空港などが新設された際、周辺草原で大発生をしたアカネズミが使用前（人不在）の施設内に侵入した例や暫く空き家状となった家屋で確認された事例はあるものの^[1,2]、あくまでも偶発的かつ例外的とも伝えた。

いずれにせよ、今回の事例は衛生動物学的には無視できず、特に、道内の公衆衛生獣医師の皆さんには対策上、



図1. 酪農学園大学学生サービスセンター棟（左○印）と外観（右）

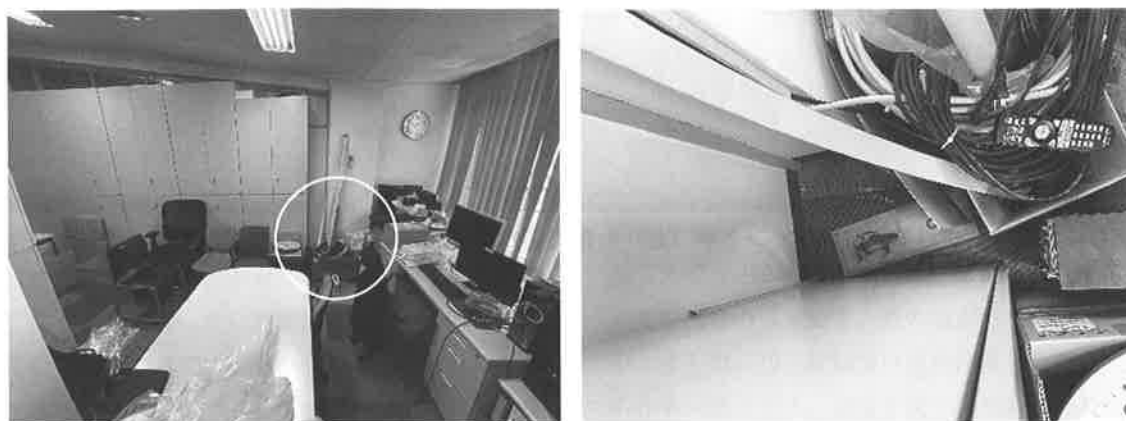


図2. SC棟2階電算・作業室内アカネズミ捕獲ポイント（左○印）とその接写（右）



図3. 捕獲されたアカネズミ

有益な知見となると感じたので、もう少し詳しく記載する。まず、SC棟壁面および床面にこういった小動物が外から侵入出来る顕著な穴などはなく、そもそも、そのような穴があれば、以前から野ネズミ類の侵入は度々あったであろうが、今回が初めてであった。著者が前述の山崎氏に心当たりはあるかとの質問に、捕獲の1週間前、この棟2階玄関の自動ドアが日中の数時間、機器搬入のため開放されていたことがあったとの回答であった。この玄関は8段の階段を通じ(図1右)、大学キャンパスの建物群中央を通貫するアスファルトの道路に面したもので、アカネズミがこの階段を上り、人が行き来するのをもとめせず、入り込んだとするのは難しい。

冒頭で引用した事例^[1]のように、アカネズミが大発生しているのなら、そのような可能性もあるだろうが、道内の野ネズミ類予察調査ではそのような事実は示していなかった^[3]。念のため、令和5年10月30日夕刻、SC棟周辺に小哺乳類を生け捕りにする罠(シャーマン・アライブ・トラップ: 鵬図商事、東京)10個を設置し(図

4)、翌早朝、回収したが、捕獲はなかった。

したがって、SC棟におけるアカネズミ存在に関しての合理的な説明は不明となった。現在、このような事例が今回だけで終わるのか、それとも、今後も続くものなのか、様子見状態である。なお、アカネズミはハンタウイルスやレプトスピラ菌などの保有あるいは感染が報告されている^[4,5]。

引用文献

- [1] 芝崎 勲 (監) : 環境衛生管理技術大系 ネズミ・害虫の衛生管理、pp.704、フジ・テクノシステム、東京(1999)
- [2] 佐々木(高田) 歩: 和歌山県内の人家に侵入する小型哺乳類について。第77回日本衛生動物学会西日本支部大会・第17回日本衛生動物学会西日本支部例会大会プログラム・講演要旨、p.8、岡山理科大学、岡山(2022)
- [3] 地方独立行政法人北海道立総合研究機構: エゾヤチネズミ発生状況 <https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/nezumi/index.htm>、地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場、美唄(2003)(2023年11月3日閲覧)
- [4] 有川二郎: げっ歯類媒介性人獣共通感染症としてのハンタウイルス感染症対策、ウイルス、53、63-69(2003)
- [5] Kitaoka M, Otsuka S: *Leptospira canicola* isolated from *Apodemus speciosus* in Kyushu, Jpn. J Med Sci Biol, 29, 45-47 (1976)



図4. SC棟周辺での生け捕り調査ポイント例(左)と罠設置の様子(右; 人物は酪農学園大学大学院修士課程在学中のKayira Gift Kingsley 獣医師)